

2005年9月号 巻き返しをはかる原子力エネルギー

NI No.382 September 2005

Nuclear's second wind

< 内容 >
(本文は英語です)

原子力が惑わす温暖化対策
地球温暖化問題がクローズアップされ、原子力が注目を浴びている。現在どんな議論がなされ、それは私たちの未来にどんな影響をもたらすのか。

技術への大きな期待と現実
私たちの考え方に影響を与えてきた「原子力時代」の遺物を振り返る。

御用学者にはならない
科学は、原子力技術に都合良くゆがめられることも多い。政府や産業界の圧力による影響について、イアン・フェアリー博士が語る。

PLUS：原子力発電所周辺の高い発がん率は誤差の範囲？

放置される放射能汚染の脅威
膨大な放射性廃棄物のずさんな管理が中央アジアの環境を脅かす。

原子力エネルギー その事実

核融合に対する勘違い
核融合という新しい技術の支持者は、クリーンで無尽蔵のエネルギーが手に入ると主張する。果たしてその真実は。

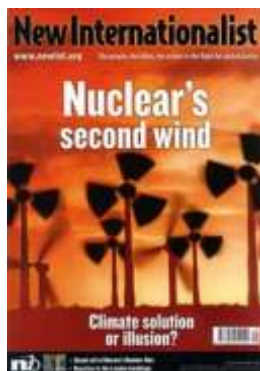
消し去りたい記憶
およそ20年前、史上最悪の原子力事故がチェルノブイリで起きた。マグナム・フォトの写真家、ポール・フスコがつづる、惨事から数年後に生まれた子どもたちとの出会い。

汚される神聖なる大地
オーストラリアのアボリジニが原子力産業に闘いを挑むようになっていった事情について。

変わるの自分から
再生可能なエネルギーは原子力の代わりにはならない？ その問いは、世界各国の取り組みを読んでからもう一度よく考えてみよう。

アクション
原子力は無い方が望ましい。そう考えて日々活動する団体の情報。

その他、世界の情勢を伝えるニュースやレポートも掲載



気候変動をもたらす危機と地球温暖化ガスの削減に対する風当たりが強まるにつれ、環境主義者、科学者、政府、産業界は原子力を利用した解決方法について熱心に語るようになってきている。チェルノブイリの惨劇から20年がたとうとしているが、原子力産業に対する否定的な世論の影響は、現在少しずつ薄らいでいるようだ。そして世界のエネルギー需要が高まる中、原子力は「グリーン」な解決策として徐々に注目を浴びている。今月は、原子力への関心を再燃させた議論を検証するとともに、原子力の使用がもたらす何世代にもわたって残る影響についても報告する。

NI-Japan No.70 2005年9月号

巻き返しをはかる原子力エネルギー

< 内容 >
(本文は日本語、一部英語です)

< NI本誌記事の翻訳 >

原子力が惑わす温暖化対策 (NI p2-6の翻訳)

< Reporting from Japan >

原子力発電に未来はあるのか
- 複雑で分かりにくい原発産業の行き詰まった現状と行方について、NPO法人原子力資料情報室の共同代表を務める西尾漢氏に聞いた。

原発・エネルギー問題に取り組む団体と、映画(『東京原発』『アレクセイと泉』)などの情報

< Information >

次号のご案内、NIの2006年版カレンダーと世界地図 (Peters' Map) の発売について、編集後記など

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール
ウクライナ」
(NI p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan (日本語、A4サイズモノクロ、12ページ) をセットでお届けします。

【年間購読 (1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/